



2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月14日

上場会社名 ステラケミファ株式会社
 コード番号 4109 URL <https://www.stella-chemifa.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 亜希

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 中島 康彦

TEL 06-4707-1512

定時株主総会開催予定日 2026年6月19日

配当支払開始予定日

2026年6月2日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月18日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	36,799	1.4	4,644	7.1	4,424	6.3	3,058	5.7
2025年3月期	36,288	19.2	4,338	59.4	4,161	35.8	2,892	56.7

(注) 包括利益 2026年3月期 2,991百万円 (18.2%) 2025年3月期 3,655百万円 (49.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	258.45		6.6	7.1	12.6
2025年3月期	241.00		6.5	7.0	12.0

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 282百万円 2025年3月期 393百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	64,149	48,061	74.6	3,918.11
2025年3月期	60,725	44,992	73.7	3,791.73

(参考) 自己資本 2026年3月期 47,824百万円 2025年3月期 44,752百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	6,009	8,162	151	14,347
2025年3月期	7,115	4,324	2,828	16,203

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		85.00		85.00	170.00	2,050	70.5	4.6
2026年3月期		85.00		95.00	180.00	2,193	69.6	4.7
2027年3月期(予想)		90.00		90.00	180.00		64.6	

(注) 2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当 85円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,100	6.3	4,800	3.3	4,900	10.7	3,400	11.2	278.55

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 有
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	12,973,248 株	2025年3月期	12,973,248 株
期末自己株式数	2026年3月期	767,169 株	2025年3月期	1,170,629 株
期中平均株式数	2026年3月期	11,834,662 株	2025年3月期	12,002,256 株

(参考)個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	24,537	0.4	3,658	4.2	4,666	27.8	3,593	49.9
2025年3月期	24,452	28.3	3,512	102.7	3,650	44.9	2,397	52.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	303.63	
2025年3月期	199.79	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	44,188	33,727	76.3	2,763.17
2025年3月期	41,230	30,416	73.8	2,577.09

(参考) 自己資本 2026年3月期 33,727百万円 2025年3月期 30,416百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計上の見積りの変更)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続いているものの、物価や金融政策の動向、中東情勢をはじめとする国際情勢の不安定さなど依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは、顧客のニーズに基づいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当連結会計年度の売上高は、半導体部門や電子材料部門の出荷量が前期と比較して増加したことに加え、運輸事業の運送取扱量が増加した結果、367億99百万円（前期比1.4%増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増加に加え、採算が改善した結果、営業利益は46億44百万円（同7.1%増）、経常利益は44億24百万円（同6.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は30億58百万円（同5.7%増）となりました。

<高純度薬品>

高純度薬品事業のうち、主力の半導体部門の売上高は、活況なAI関連需要を背景に、出荷量が増加した結果、222億4百万円（前期比5.8%増）となりました。加えて、電子材料部門の出荷量が増加したことにより、高純度薬品事業の売上高は317億86百万円（同0.8%増）となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、原料価格上昇に伴う価格転嫁を実施したことにより、営業利益は35億92百万円（同1.3%増）となりました。

<運輸>

運輸事業につきましては、運送取扱量が前連結会計年度を上回った結果、売上高は48億92百万円（前期比5.5%増）となりました。

利益面では、売上高の増加および採算の改善により、営業利益は10億45百万円（同31.6%増）となりました。

<その他>

その他事業につきましては、保険代理業収入等が前連結会計年度を上回った結果、売上高は1億20百万円（前期比3.5%増）となり、営業利益は28百万円（同54.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の流動資産は289億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億9百万円(3.0%)減少しました。主な要因は、売掛金が2億39百万円、仕掛品3億77百万円、原材料及び貯蔵品が3億4百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が18億26百万円減少したことによるものです。固定資産は352億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億32百万円(14.0%)増加しました。主な要因は、有形固定資産が17億83百万円、投資有価証券が24億32百万円増加したことによるものです。

この結果、当連結会計年度末における資産合計は641億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億23百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末の流動負債は90億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億99百万円(7.1%)減少しました。主な要因は、買掛金が3億85百万円増加したものの、電子記録債務が1億86百万円、短期借入金が4億円、未払金が2億80百万円、未払法人税等が2億61百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は70億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億54百万円(17.7%)増加しました。主な要因は、長期借入金が4億46百万円、資産除去債務が3億57百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、当連結会計年度末における負債合計は160億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億54百万円増加しました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は480億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億68百万円増加しました。主な要因は、自己株式が11億22百万円減少(純資産の増加)、資本剰余金が9億88百万円、利益剰余金が10億25百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は74.6%(前連結会計年度末は73.7%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて18億55百万円減少し、当連結会計年度末は143億47百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、60億9百万円(前期比11億6百万円の収入減少)となりました。

主な内訳は、税金等調整前当期純利益43億95百万円、減価償却費の計上28億89百万円、持分法による投資損失の計上2億82百万円、棚卸資産の増加7億21百万円、利息及び配当金の受取額6億43百万円、法人税等の支払額16億72百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、81億62百万円(前期比38億37百万円の支出増加)となりました。

主な内訳は、有形固定資産の取得による支出45億71百万円、投資有価証券の取得による支出36億3百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1億51百万円(前期は28億28百万円の支出)となりました。

主な内訳は、短期借入金の減少4億円、長期借入れによる収入17億円、長期借入金の返済による支出11億18百万円、自己株式の処分による収入20億58百万円、配当金の支払額20億30百万円です。

(4) 今後の見通し

高純度薬品事業において、主原料である無水フッ酸価格が、主に円安の影響により上昇が見込まれるものの、主力事業である半導体部門については、海外向けを中心に販売増加を見込むとともに、価格転嫁の実施により、次期の連結売上高は391億円（前年度比6.3%増）、営業利益48億円（同3.3%増）、経常利益49億円（同10.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益34億円（同11.2%増）を見込んでいます。

なお、現下の中東情勢による事業および業績への影響について、ホルムズ海峡が実質的に封鎖されている影響で、無水フッ酸の原料である硫酸の需給がひっ迫するとともに価格が高騰し、それに伴い中国における無水フッ酸価格が上昇傾向にあります。現時点では事態の収束時期等、今後の見通しが不透明であるため、上記業績予想には織り込んでいませんが、事態が長期化すると業績に影響を及ぼす可能性があります。

<当社グループの連結業績見通し>

	2026年3月期実績	2027年3月期 (予想)	前年度比
	百万円	百万円	%
売上高	36,799	39,100	+6.3
営業利益	4,644	4,800	+3.3
経常利益	4,424	4,900	+10.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,058	3,400	+11.2

(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社は、財務状況、利益水準などを総合的に勘案したうえで、安定的かつ継続的に配当を行うことが、経営上の重要な課題であると認識しています。内部留保金は、設備投資、研究開発投資などに充当し、今後の事業展開に積極的に活用し、企業価値を高めるよう努力いたします。

また、第4次中期経営計画期間（2026年3月期～2028年3月期）の株主還元につきましては、成長投資とのバランスに加え、資本コストと株価を意識した経営を実現していくため、3年間累計で総還元性向（注）100%以上を目標とし、配当金につきましては1株当たり年間170円を下限として実施いたします。ただし、特別な損益等の特殊要因により親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度につきましては、その影響を考慮して、株主還元額を決定いたします。

なお、当社は2026年2月1日をもちまして創業110周年を迎えました。つきましては、株主の皆様への感謝の意を表すため、当期の期末配当において、1株当たり10円の記念配当を実施することといたしました。これにより、期末配当金は普通配当85円に記念配当10円を加えた1株当たり95円となり、当期の年間配当金は、中間配当金85円と合わせて、1株当たり180円となります。

次期の配当につきましては、上記の第4次中期経営計画の方針を踏まえ、中間配当90円、期末配当90円の1株当たり年間180円を予定しています。上記の株主還元方針に基づき、3年間累計で総還元性向100%以上を目標としていますが、各年度における総還元性向100%以上を目標とするものではありません。配当金につきましては1株当たり年間170円を下限として設定しておりますが、各年度における総還元性向や配当と自己株式取得の配分については、今後の業績見通しや株価動向等を踏まえて決定いたします。

（注）2026年3月期～2028年3月期における株主還元の合計額を、同期間における親会社株主に帰属する当期純利益の合計額で除した比率

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しています。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,643	14,817
受取手形	25	—
売掛金	7,094	7,333
電子記録債権	3	4
商品及び製品	2,331	2,404
仕掛品	1,526	1,904
原材料及び貯蔵品	1,759	2,064
その他	469	417
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	29,839	28,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,863	24,234
減価償却累計額	△15,464	△16,118
建物及び構築物（純額）	8,399	8,115
機械装置及び運搬具	30,612	31,681
減価償却累計額	△25,156	△26,017
機械装置及び運搬具（純額）	5,455	5,663
土地	5,467	5,467
リース資産	132	408
建設仮勘定	4,652	5,353
その他	11,358	12,692
減価償却累計額	△8,808	△9,259
その他（純額）	2,549	3,432
有形固定資産合計	26,658	28,441
無形固定資産		
その他	42	69
無形固定資産合計	42	69
投資その他の資産		
投資有価証券	3,163	5,595
繰延税金資産	603	707
その他	419	405
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,186	6,708
固定資産合計	30,886	35,219
資産合計	60,725	64,149

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,640	2,026
電子記録債務	860	673
短期借入金	2,000	1,600
1年内返済予定の長期借入金	949	1,084
未払金	1,512	1,231
未払法人税等	994	732
賞与引当金	386	394
役員賞与引当金	52	48
設備関係電子記録債務	581	656
その他	807	636
流動負債合計	9,784	9,085
固定負債		
長期借入金	2,424	2,871
役員退職慰労引当金	30	35
株式給付引当金	167	195
退職給付に係る負債	978	1,003
資産除去債務	754	1,111
その他	1,591	1,785
固定負債合計	5,948	7,002
負債合計	15,732	16,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,829	4,829
資本剰余金	8,760	9,748
利益剰余金	31,734	32,759
自己株式	△3,271	△2,148
株主資本合計	42,053	45,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	△228
為替換算調整勘定	2,595	2,863
その他の包括利益累計額合計	2,699	2,635
非支配株主持分	240	236
純資産合計	44,992	48,061
負債純資産合計	60,725	64,149

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	36,288	36,799
売上原価	28,031	28,218
売上総利益	8,257	8,581
販売費及び一般管理費	3,918	3,936
営業利益	4,338	4,644
営業外収益		
受取利息	107	87
受取配当金	2	2
デリバティブ評価益	—	9
受取地代家賃	29	29
補助金収入	5	52
為替差益	102	—
その他	68	63
営業外収益合計	316	244
営業外費用		
支払利息	39	74
為替差損	—	56
持分法による投資損失	393	282
デリバティブ評価損	12	—
その他	48	50
営業外費用合計	493	464
経常利益	4,161	4,424
特別利益		
固定資産売却益	6	21
持分変動利益	263	—
特別利益合計	270	21
特別損失		
固定資産廃棄損	17	50
固定資産売却損	—	0
減損損失	190	—
特別損失合計	207	50
税金等調整前当期純利益	4,224	4,395
法人税、住民税及び事業税	1,278	1,401
法人税等調整額	74	△52
法人税等合計	1,352	1,348
当期純利益	2,871	3,047
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△20	△11
親会社株主に帰属する当期純利益	2,892	3,058

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	2,871	3,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△331
為替換算調整勘定	597	264
持分法適用会社に対する持分相当額	192	10
その他の包括利益合計	783	△56
包括利益	3,655	2,991
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,655	2,994
非支配株主に係る包括利益	0	△3

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,829	8,797	31,655	△2,957	42,324
当期変動額					
剰余金の配当			△2,178		△2,178
親会社株主に帰属する当期純利益			2,892		2,892
自己株式の取得				△1,045	△1,045
自己株式の消却		△693		693	—
自己株式の処分					—
利益剰余金から資本剰余金への振替		634	△634		—
株式給付信託による自己株式の取得					—
株式給付信託による自己株式の処分				1	1
譲渡制限付株式報酬		21		36	58
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△37	79	△313	△271
当期末残高	4,829	8,760	31,734	△3,271	42,053

	その他の包括利益累計額			非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	110	1,826	1,936	240	44,501
当期変動額					
剰余金の配当					△2,178
親会社株主に帰属する当期純利益					2,892
自己株式の取得					△1,045
自己株式の消却					—
自己株式の処分					—
利益剰余金から資本剰余金への振替					—
株式給付信託による自己株式の取得					—
株式給付信託による自己株式の処分					1
譲渡制限付株式報酬					58
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△6	769	762	0	762
当期変動額合計	△6	769	762	0	491
当期末残高	103	2,595	2,699	240	44,992

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,829	8,760	31,734	△3,271	42,053
当期変動額					
剰余金の配当			△2,033		△2,033
親会社株主に帰属する当期純利益			3,058		3,058
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の消却					—
自己株式の処分		934		1,124	2,058
利益剰余金から資本剰余金への振替					—
株式給付信託による自己株式の取得				△129	△129
株式給付信託による自己株式の処分		42		88	131
譲渡制限付株式報酬		10		40	50
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	988	1,025	1,122	3,136
当期末残高	4,829	9,748	32,759	△2,148	45,189

	その他の包括利益累計額			非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	103	2,595	2,699	240	44,992
当期変動額					
剰余金の配当					△2,033
親会社株主に帰属する当期純利益					3,058
自己株式の取得					△0
自己株式の消却					—
自己株式の処分					2,058
利益剰余金から資本剰余金への振替					—
株式給付信託による自己株式の取得					△129
株式給付信託による自己株式の処分					131
譲渡制限付株式報酬					50
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△331	267	△63	△3	△67
当期変動額合計	△331	267	△63	△3	3,068
当期末残高	△228	2,863	2,635	236	48,061

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,224	4,395
減価償却費	2,812	2,889
減損損失	190	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6	24
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	4
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	24	28
受取利息及び受取配当金	△110	△90
支払利息	39	74
固定資産除売却損益 (△は益)	10	28
デリバティブ評価損益 (△は益)	12	△9
持分法による投資損益 (△は益)	393	282
持分変動損益 (△は益)	△263	—
為替差損益 (△は益)	△3	15
売上債権の増減額 (△は増加)	△201	△157
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△71	△721
仕入債務の増減額 (△は減少)	461	156
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	87	120
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△151	48
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△0	0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△122	△162
その他	119	184
小計	7,466	7,118
利息及び配当金の受取額	110	643
利息の支払額	△38	△80
法人税等の支払額	△422	△1,672
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,115	6,009
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△520	△534
定期預金の払戻による収入	476	514
有形固定資産の取得による支出	△4,165	△4,571
有形固定資産の売却による収入	7	40
有形固定資産の除却による支出	△1	△8
無形固定資産の取得による支出	△4	△9
投資有価証券の取得による支出	△152	△3,603
その他の支出	△52	△3
その他の収入	88	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,324	△8,162

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△400
長期借入れによる収入	1,500	1,700
長期借入金の返済による支出	△1,053	△1,118
自己株式の処分による収入	—	2,058
自己株式の取得による支出	△1,045	△0
リース債務の返済による支出	△52	△57
配当金の支払額	△2,177	△2,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,828	151
現金及び現金同等物に係る換算差額	394	146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	356	△1,855
現金及び現金同等物の期首残高	15,846	16,203
現金及び現金同等物の期末残高	16,203	14,347

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当連結会計年度において、連結子会社であるSTELLA CHEMIFA SINGAPORE PTE LTDの土地賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用に関する新たな情報を入手したことに伴い、見積りの変更を行いました。

この見積りの変更による増加額303百万円を変更前の資産除去債務残高に加算しています。

なお、この見積りの変更により、当連結会計年度の営業利益は53百万円、経常利益および税金等調整前当期純利益は63百万円減少しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、取締役会、経営会議において、当社グループ全体を包括的に把握し、各子会社の報告を基礎とした事業別の戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社は、事業別のセグメントから構成されており、「高純度薬品事業」、「運輸事業」の2つを報告セグメントとしています。

「高純度薬品事業」は、高純度薬品の製造、販売を行っています。「運輸事業」は、化学薬品等の輸送、保管および通関業務などを行っています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高純度 薬品	運輸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,535	4,636	36,172	116	36,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	3,563	3,605	245	3,850
計	31,577	8,199	39,777	361	40,138
セグメント利益	3,546	794	4,340	18	4,359
セグメント資産	50,709	10,120	60,829	284	61,114
その他の項目					
減価償却費	2,366	445	2,811	0	2,812
減損損失	190	—	190	—	190
持分法適用会社への 投資額	2,830	—	2,830	—	2,830
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	3,249	672	3,922	2	3,924

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高純度 薬品	運輸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,786	4,892	36,678	120	36,799
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	3,789	3,789	272	4,062
計	31,786	8,681	40,468	393	40,861
セグメント利益	3,592	1,045	4,637	28	4,665
セグメント資産	53,408	10,832	64,241	318	64,559
その他の項目					
減価償却費	2,442	445	2,888	0	2,889
減損損失	—	—	—	—	—
持分法適用会社への 投資額	2,002	—	2,002	—	2,002
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	4,006	226	4,233	2	4,235

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	39,777	40,468
「その他」の区分の売上高	361	393
セグメント間取引消去	△3,850	△4,062
連結財務諸表の売上高	36,288	36,799

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,340	4,637
「その他」の区分の利益	18	28
セグメント間取引消去	△20	△20
連結財務諸表の営業利益	4,338	4,644

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	60,829	64,241
「その他」の区分の資産	284	318
全社資産(注)	4	4
その他の調整額	△392	△414
連結財務諸表の資産合計	60,725	64,149

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の長期投資資金(会員権)です。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	3,791円73銭	3,918円11銭
1株当たり当期純利益	241円00銭	258円45銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定に用いられた当連結会計年度末の普通株式および1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数については、自己名義所有株式分を控除する他、株式会社日本カस्टディ銀行が保有する当社株式(当連結会計年度末165,900株、期中平均株式数154,585株)を控除して算定しています。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	44,992	48,061
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	240	236
(うち非支配株主持分(百万円))	(240)	(236)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	44,752	47,824
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	11,802	12,206

4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,892	3,058
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,892	3,058
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,002	11,834

(重要な後発事象)

該当事項はありません。